

29年5月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 5月1日～ 29年5月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		29/5月	6月	7月
入荷動向	スギ	0.0	30.0	20.0
	ヒノキ	△ 12.5	12.5	0.0
	カラマツ	10.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 16.7	△ 16.7	16.7
消費動向	スギ	△ 20.0	30.0	20.0
	ヒノキ	△ 12.5	12.5	0.0
	カラマツ	0.0	10.0	10.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 10.0	△ 10.0	0.0
	ヒノキ	△ 12.5	0.0	0.0
	カラマツ	10.0	△ 10.0	△ 10.0
	トドマツ	0.0	△ 16.7	16.7

・スギ合板用原木の入荷は5月の横ばいが6月、7月は増加に。ヒノキは5月の減少が6月は増加、7月は横ばいに。カラマツは5月の増加が6月、7月は横ばいに。トドマツは5月、6月の減少が7月は増加に。

・スギ及びヒノキ合板用原木の消費は、稼働日数により5月は減少、6月、7月は増加に。カラマツ及びトドマツは横ばいで推移。

・スギ合板用原木の在庫は5月、6月の減少が7月は横ばいに。ヒノキは5月の減少が6月、7月は横ばいに。カラマツは5月の増加が6月、7月は横ばいに。トドマツは5月は横ばい、6月は減少、7月は増加に。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/5月	6月	7月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	12.5	12.5
カラマツ	0.0	0.0	10.0
米マツ	16.7	16.7	0.0
北洋カラマツ	16.7	16.7	16.7
その他	-	-	-

・スギ合板用原木の購入価格動向は保合いで推移。ヒノキは強含み。カラマツは保合い。
・米マツ及び北洋カラマツは強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)
・入荷はカラマツ以外は順調。消費は5月は休みが多く横ばい、6月からは増加する。在庫は6月から減少する(東北)。
・6月まで入荷を抑える。カラマツの消費を多少増やす。生産量を多少増やしてカラマツ在庫を減らす(関東)。
・合板用国産材の入荷状況はスギ、ヒノキ、カラマツ以外の樹種が増加し入荷が不安定。消費は横ばいで生産計画に沿って消費。在庫はカラマツ、その他の樹種が増加(中部)。

(原木価格)

・ロシア材の強さは変わらず(関東)。
・スギについては変わらず。カラマツは取り合いにて上昇。外材も上昇傾向。
・購入価格は4月が最高値、5月入荷より多少変動あり(中部)。

29年5月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		29/5月	6月	7月
生産動向	構造用(9mm)	△ 12.5	25.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	25.0	8.3
	〃 (15mm)	△ 8.3	8.3	0.0
	〃 (24mm)	△ 8.3	8.3	0.0
	〃 (28mm)	0.0	16.7	8.3
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	20.0	20.0
	〃 (12mm)	8.3	25.0	25.0
	〃 (15mm)	0.0	8.3	8.3
	〃 (24mm)	8.3	16.7	16.7
	〃 (28mm)	8.3	16.7	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	△ 10.0	△ 10.0
	〃 (12mm)	△ 16.7	△ 25.0	△ 16.7
	〃 (15mm)	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (24mm)	△ 8.3	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (28mm)	△ 8.3	△ 16.7	△ 16.7

・合板工場の生産動向は、9mm、15mm、24mmは5月は減少から6月は増加、7月は横ばいに。12mm、28mmは5月の横ばいから6月、7月は増加に。

・合板工場の出荷動向は総じて増加で推移。

・合板工場の在庫動向は総じて減少で推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/5月	6月	7月
構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

・構造用合板の出荷価格は全ての品目で保合いで推移。

モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・構造用合板の生産動向は、5月は稼働日が少なく横ばい。6月より増加へ。出荷は、6月から新規受注増へ。在庫は減少気味で推移。
- ・生産、出荷、在庫とも少量生産に付き変化なし（関東）。
- ・生産動向は計画に沿って稼働。出荷は厚物が増加。在庫は全品種減少（中部）。
- ・材の置き場所がないので、消費に合わせて入荷を調整する。消費は稼働日数で決まる。在庫は現状維持をキープする（九州）。

(構造用合板の価格)

- ・構造用合板の出荷価格は変わらず。安定した価格へ。
- ・9, 12, 15, 24, 28mmともに価格に変化はない（関東）。
- ・構造用合板の出荷価格は、全品目でほぼ横ばい（中部）。
- ・市場価格は下落すると思われるが、合板用原木の購入価格は現状を維持したい（九州）。